

全国各地で地区大会開催

◆【全国発信記事】 関西地方支部

第77年度 神戸地区大会を開催

— 活動報告・活動方針案について活発な議論 —

第82回定期全国大会を前に全国各地において、地区大会が開催された。今年度の地区大会は、新型コロナウイルス感染症に留意し、各地区大会の会場では、ソーシャルディスタンス、アルコール消毒、マスク着用、会場の換気など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで開催した

9月9日、13時30分から関西地方支部において、アクリル板の設置や検温・消毒の実施、マスク着用、会場内の換気など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで、神戸地区大会を開催した。地区大会は山崎秀和副支部長の司会で開会し、中野達也執行部員が資格審査結果を報告、大会成立要件を満たしていることを満場の拍手で確認した。

続いて、浦隆幸関西地方支部長が議長に選出され、議長あいさつの後、議事に入った。

はじめに、第76年度の関西地方支部の活動が和田文男関西地方支部長代行から行われ、代議員から

- ▽体験乗船や出前講座の大学・商船高専への拡充について
- ▽船員に対する新型コロナウイルスワクチン接種について
- 一などの意見・質問があり、執行部からの説明で理解を深めた。

続いて、第77年度活動方針案について代議員から

- ▽非居住特別組合員の新型コロナウイルス感染者発生時の報告について
- ▽働き方改革の進捗状況ならびに操練・当直交代の時間外労働について
- ▽IBF団体交渉進捗状況ならびに今後について
- ▽わが国EEZ内で違法操業を行う外国漁船への対応について
- ▽カボタージュ規制の現状について
- 一などの質問があり、質疑応答で理解を深めた。

地区提出議案として、淡路ルートサービスの小西秀昭代議員から「本州四国連絡橋で働く組合員の雇用を守る決議案」が上程され、審議に入り、決議案に対し「料金收受業務は、架橋闘争により職域を奪われた船員の受け皿であったが、再び職域が危ぶまれていることから、雇用を守るためにも頑張ってもらいたい」などの賛同意見が多く出され、議論の結果、決議案は採択され、第77年度神戸地区大会を終了した。